

2021年9月1日

即時リリース用

プレスリリース

おかえりなさい！ Eurobike 2021

欧州最大級の国際サイクリング業界トレードショー再開に伴い、Bafang は、eCity および eMTB セクター向けの革新的な新しい e-drive システムを発表しました。

9/1 フリードリヒスハーフェン：Eurobike2021 が開催中です。サイクリング業界のカレンダーにこの重要なイベントが戻ってきた事を心から喜んでいきます。すべての出展者および来場者の安全管理のために、イベントは入念に組織、計画されました。ソーシャルディスタンスを保つためいくつかの制限があり、厳格な入場基準が設けられています。

私たち E ドライブシステムメーカー Bafang は、今回の展示会で、eCity と eMTB セグメントに最適化された革新的な駆動システムを含む一連の新製品を発表出来ることを嬉しく思います。150 m² のブースには、eMTB、eCity、cargo シリーズを含むいくつかのパートナーブランドが展示されています。合計 22 名の Bafang スタッフが Eurobike2021 に参加し、旅行および展示会のガイドラインに従って既存・新規のクライアントと面会しています。



Photo Bafang

H700 は、eCity 市場において都市でのサイクリング体験を向上させるために設計された、クリーン・コンパクト・ダイナミックなリア駆動システムです。主な特徴である自動デュアルスピード機能により、モーターはサイクリング中の速度を検出し、ギアボックス比を自動的に調整します。手動でシフトすることなくケイデンスを向上させることができます。標準的な eBike サイズとインテグレートしやすいコンパクトサイズで、薄型チューブ内バッテリーとコントローラー、チューブ内蔵シングルボタンディスプレイを備えています。

eMTB バイクには、次の 2 つの新しいミッドモーターシステムが導入されています。

M510 は 1 世代前のアップデート版で、重量は 18% 減少し、最大出力は 20% 増加しました。ハードコアクライミングの状況でも、強力な加速と持続的な最大出力が保証されます。

M410 は、信頼性の高い 250W の電力と 80Nm のトルクを提供します。インテグレートバッテリーとセミインテグレートバッテリーの両方にフレキシブルに因應できるように設計されています。



Photo Bafang

Bafang の新製品に興味を持ったサイクリング業界の来場者から、たくさんの好意的なフィードバックを得ました。あるクライアントは「これは当社の eCity 製品にとって素晴らしいオプションです。お客様はサイクリング体験の向上を絶対喜ぶことでしょう。」と述べて、Bafang の eMTB システムオプションが新たに追加されたことを歓迎しました。

Bafang セールスセンター部長のジョー・ジャンは次のように語りました。「パンデミックはあらゆる業界に大きな影響を及ぼしましたが、Bafang がパートナーと緊密に協力することを妨げるものではありません。私たちは、世界中のお客様に高品質の製品と良いサービスを提供し続けています。Bafang は Eurobike で新しい H700、M510、および M410 システムを発売しました。既存および新規のパートナーの皆様、Bafang ブースへのお越しをお待ちしています。」

Eurobike2021 は 9 月 4 日まで続きます。A1-303 Bafang ブースでお会いしましょう。

メディア連絡先:

キャサリン・MA

メール: katherine.ma@bafang-e.com

Bafang について: www.bafang-e.com

Bafang は、イーモビリティ部品と完全なイードライブシステムの大手メーカーの一つであり、2003 年から電気車両向けの部品と完全なシステムを開発してきました。Bafang は上海証券取引所 (603489.SS) に上場しています。

同社は、個人の電動アシスト自転車や、電動スクーター、または公共自転車共有計画など、未来のグローバルなイーモビリティ動向の全てに焦点を当てています。Bafang は世界中で約 1000 名のスタッフを雇用しています。本社と開発/製造センターは上海近郊の蘇州に位置しています。

Bafang はオランダと、アメリカ、ドイツ、日本、台湾、中国に販売およびサービスセンターを持っています。ポーランドに新たに開設された工場は、欧州市場向けミッドモーターシステムの生産に注力していきます。

このリリースはバーファン電気（蘇州）股份有限公司 (Bafang Electric (Suzhou) Co., Ltd.) が発行しており、同社がその内容に対する最終責任を有しています。